

中の島地区

町内会活動の重要性

●川端則和さん（町内会連合会環境部長）

町内会は身近で大切な組織ですが、加入率は低下しています。また、ごみステーションの利用について、町内会未加入世帯に、マナー意識を浸透させるにはどうしたらよいか悩んでいます。

◆市長より

町内会の加入は任意ですが、町内の連帯感がないとまちづくりは進みません。どうしても町内会の必要性を住民が認識できるかという観点から考えましょう。働き盛りのお父さんにも、自分の家族は地域の人に助けられながら生活していると分かってもらえるような、地道な活動を続けていく以外にないと思います。そつした活動が、ごみ問題に対する意識の向上にもつながっていくと思います。



西岡地区

自然環境を守りたい

●垂井武一さん（町内会連合会副会長）

地区の高齢化率は19・4%で、ほかの地区と比較すると非常に高い割合です。昭和三十七年の宅地造成時から、苦労して西岡のまちを築いてきた人たちに、住んでよかったと実感してもらえることがまちづくりの目標です。

●河原奈々枝さん（西岡公園の自然を残す会）代表）

この会は、西岡公園の自然をそのまま子供たちに残したいという母親の願いから始まりました。十八年前に発足して以来、地道な活動を続けています。

◆市長より

札幌ならではの自然を大事にしたいと、各地域でさまざまな活動が行われています。緑を30%増やすという公約はCO₂対策にもなります。環境問題と一体化させ、快適に過ごすため緑を増やすというものです。



福住地区

恵まれた自然を生かして

●斎藤武さん（町内会連合会会長）

地区内には、札幌ドームや羊ヶ丘展望台があり、自然豊かな地域です。周辺に、自然環境を生かした公園や、市民がスポーツを楽しむ野外運動場などを整備してください。

◆市長より

羊ヶ丘の緑地は、市民にとって、最も大事な緑地の一つです。札幌ドーム周辺の土地利用には、いろいろな規制があります。しかし、周辺に住む皆さんのまちづくりに対する意見が、どう集約されるかによっては、今後変わる可能性も考えられると思います。※札幌ドーム周辺の施設整備については、東月寒地区からも同様の要望がありました。



東月寒地区

広がる地域交流の輪

●西條保さん（町内会連合会会長）

地域の自然環境を生かして、イモやソバの栽培を行う事業をしています。植え付けから収穫までの作業を行い、子供たちの体験学習にもなっています。また、収穫物は独居老人の食事会など福祉面に多く利用。子供たちからお年寄りまで交流の輪が広がるとともに、地域に対する愛着心も向上しています。

◆市長より

イモを育てる過程で子供の教育に役立てる、利用方法として福祉のまち推進事業と連続させるなど、発想の広がりを感じます。何か一つのことをやると、皆さんに必ずまちづくりに関心を持ってもらえます。今までの町内会活動だけではかかわりきれなかったそつした人たちも集まって、まちのあり方を語り合える場所を作るため、まちづくりセンターの改編を考えています。



南平岸地区

町内会と市民活動の関連性

●末廣仁志さん（町内会連合会会長）

市長が言われている市民活動の中での、町内会活動の位置付けをお聞きします。

◆市長より

地域的な連続性の中で行われているのが町内会活動です。市民活動は、必ずしも地域に限定されずどこに住んでいても、ある目標にみんなが共感をして一緒に何か活動をしよつというものです。町内会活動は、そこに住んでいる方々の地域を基盤とした市民活動といえると思います。多様な活動が、多様な組織によって、多様に展開されること、これからのまちづくりに必要なのではないのでしょうか。



～会場にお集まりの皆さんからもアンケートによる意見が寄せられました～



会場の皆さんに語りかける上田市長

《タウントークについての感想》

- 分かりやすい言葉で回答されていて、公開性もありよかった。
- 誰でも意見交換ができるようにしてほしい。
- 土曜日に開催して、若い人や子供も参加できるとよいと思う。

● 今回の会で、各地域ごとに多方面にわたり活動されている実態を知ることができた。

《市政区政への要望》

- 障がいのある人や家族の視点が不足している。
- もっと区役所を独立させ、住民との接点を持つべき。
- 町内会の自主自立の方向性などをサポートする、役所の姿を見せてほしい。
- 市の予算は赤字なので、民間でできる事は民間でやるべき。

